

# 美術館でめぐる歳時記

## ～日本画家たちが描く四季～



池上秀畝《夏二題》部分 1940年



池田蕉圃《灯ともし頃》部分 1912年頃



上村松園《雪中美人》部分 大正前期



山本丘人《紅葉の季》部分 1938年

2023年 **6月10日** [土] ▼ **7月17日** [月・祝]

開館時間 9時30分～17時30分 (最終入館17時)

休館日 毎週月曜日 (但し7月17日は開館)

入館料 一般1000円 中・高校生600円 小学生300円

※20名以上の団体は各1000円引き ※小・中学校が授業の一環として利用する場合は無料

※小・中学生は毎週土曜日無料 ※お着物でご来館の方は半額

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付添1名は半額 (要手帳提示)



水野美術館

〒380-0928 長野市若里6-2-20 Tel 026-229-6333  
Fax 026-229-6311 <https://www.mizuno-museum.jp>

小林古径《母子雀》部分 1937年



春の花見に秋の紅葉狩り、端午の節句や七夕まつり、あるいは五月雨、吹雪など――。

こうした四季ごとの行事や生活、植物や気候などの情報をまとめた書物『歳時記』をご存知でしょうか。現代では俳句の季語辞典として多くの書籍が発行され、季節ごとの森羅万象を

表わす膨大な言葉の数々が納められています。いわば歳時記とは、季節の百科事典とも言い換えられるでしょう。

本展では、展示室全体を歳時記に見立て、日本画のなかから季節を感じるモチーフやことばを探ります。例えば、上村松園『夏の美人圖』に描かれた、

女性の吊るす蚊帳や足元に置かれた団扇は、夏を表わす暮らしの道具です。あるいは菊池契月『流鏝馬図』や山本丘人『紅葉の季』では、秋を感じる紅葉の情景を見ることが出来ます。このように日本画家たちの捉えた四季のすがたを、歳時記をたよりにどうぞお楽しみください。



2



1



4



3



5



7



6



8

- 1.上村松園《夏の美人圖》大正初期
- 2.菊池華秋《夕涼み》1944年
- 3.池上秀敏《夏二題》1940年
- 4.児玉希望《吹雪（平等院）》1958年
- 5.菊池契月《流鏝馬図》1902年頃
- 6.小林古径《母子雀》1937年
- 7.那波多目功一《夏の朝》2000年
- 8.平松礼二《雨後の花》1990年頃

交通のご案内

バスを利用の場合

JR長野駅下車、  
**【長電バス】（平日のみ）**  
 東口から「日赤・水野美術館行き」  
 乗車約10分「水野美術館」下車すぐ  
**【アルピコバス】**  
 善光寺口から「大塚南行き」「松岡行き」  
 乗車約15分  
 （平日）「水野美術館前」下車すぐ  
 （土日祝）「ビッグハット」下車、徒歩約5分  
 ※詳細は各交通会社へお問い合わせください。

車を利用の場合【無料駐車70台】  
 上信越自動車道「長野インター」から約15分



Facebook & Twitter 随時更新中!

水野美術館 ZENKOJIDAIARA ART LINE 善光寺平アートライン

〒380-0928 長野市若里 6-2-20 Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311  
<https://www.mizuno-museum.jp>

次回展 特別企画展 光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界  
 同時開催 水野コレクション 美人画名品選 会期：2023年7月29日（土）～9月24日（日）

入館料 割引券

100円引

※会期中1枚につき1名様のみ有効  
 ※他の割引券との併用はできません